

令和 5 年度 豊郷南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

豊かな心と健やかな体を持ち、主体的・創造的に考え、たくましく生きる児童を育成する。

- ・ 仲よく助け合う子 ・ ・ ・ やさしく <徳>
- ・ よく考え進んで学ぶ子 ・ ・ ・ かしこく <知>
- ・ 元気でやりぬく子 ・ ・ ・ たくましく <体>

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

(1) 明るく活力のある学校

明るい挨拶が交わされ、児童主体の楽しい学習や学校行事が行われている学校、児童一人一人の居場所があり、夢や目標の実現に向けて努力しようとする意欲にあふれる学校を目指す。

(2) 学びのある学校

教師と児童が学習活動のねらいを共有し、その達成を目指した授業の中で、「分かった」「できた」と達成感や成就感を味わうとともに、「もっと学びたい、できるようになりたい」と感じられる、学びのある学校を目指す。

(3) 子どもたちを学ばせてよかったと思える学校

共に学び、遊べる友達と、親切で頼りになる先生がいる学校、保護者の思いや願い、地域の期待を受け止め、子供たちの成長の姿が実感できる学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学力調査の活用や学習習慣の確立、分かる授業の実現により「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」の育成を目指す。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現やG I G Aスクール構想の推進を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的実現に努める。
- (3) 地域の教育資源の有効活用や教科等横断的な学習の積極的な実施など、カリキュラム・マネジメントの充実に努める。
- (4) 児童の人権を尊重し、一人一人のよさや成長を認め励ます教育を推進することで、自己肯定感や思いやりの心の育成を目指す。
- (5) 児童理解を心掛け、いじめや不登校を生まない学級経営に努める。いじめや不登校が発生した場合には組織的な対応を行い、早期解決につなげるよう努力する。
- (6) 健康で安全な生活が送れるよう健康教育と安全教育の充実に図り、健康でたくましい体を育む教育の推進に努める。
- (7) 地域学校園小中一貫教育の推進と地域協議会等地域諸団体との連携・協力により、「地域とともにある学校」の実現を目指す。
- (8) 学校における働き方改革を推進するとともに、教育公務員としての使命と職責を自覚し、相互に学び合い高め合える同僚性の構築と、教職員の資質・能力の向上を目指す。

〔陽北地域学校園教育ビジョン〕 学び合い 認め合い 高め合う 陽北地域学校園
～ 人と人との豊かなかかわりをとおして ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係法規や新学習指導要領及び県・市の教育行政の方針等を踏まえる。
- (2) 家庭や地域との連携・協力や教科等横断的な視点（学習の基盤となる言語能力の育成：根拠を基に論理的に思考し、考えを適切に伝えることができるようにするための指導の工夫）を取り入れた「社会に開かれた教育課程」の編成とカリキュラム・マネジメントの充実に努める。
- (3) 持続可能な社会の創り手となるよう、児童が自分のよさや可能性に気づき自己肯定感を育むことができるよう工夫する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

学校教育目標が目指す「知・徳・体」のバランスのとれた力の育成

→合言葉「やさしく・かしこく・たくましく 笑顔あふれる 豊南小」ふさわしい児童の育成

- ・重点目標を具現化するための協働的なチーム作り → みなみんプロジェクト
- ・PTA、魅力ある学校づくり地域協議会との連携 ・地域の教育資源を生かした学習活動の充実
- ・いじめ対策の公表等の積極的な情報発信 ・教育課程実践の成果並びに課題の検証とカリキュラムの見直し
- ・教職員の同僚性の構築

【学習指導】

確かな学力を育む学習指導の充実 「かしこさ」プロジェクト

- ・宇都宮モデル（はっきり・じっくり・すっきり）各過程の指導の質的向上
- ・授業の工夫（めあて、振り返り、板書） ・家庭学習強化週間の設定
- ・「主体的・対話的な学習」を実践するための読解力・表現力の育成
- ・キャリア教育の充実（「プロに学ぶキャリア教育」の実施、キャリア・パスポートを用いた指導の工夫）
- ・各種学力調査等の結果分析を踏まえた指導・工夫の改善の公表
- ・教員の指導力の向上（国語科の指導を中心とした授業研究）
- ・ICT活用能力の育成 ・読書の充実

【児童生徒指導】

○自己肯定感を高める指導の充実 「やさしさ」プロジェクト

- ・縦割り班活動の推進 ・いじめゼロ週間の実施 ・定期教育相談の実施 ・心に響く道徳授業の実践
- ・居がいのある学校づくりの推進 ・チャレンジ学級との交流 ・インクルーシブ教育の推進
- ・学校園あいさつ運動、児童会による朝のあいさつ運動の継続 ・学びに向かう集団作り（学習習慣の確立）
- ・宮っ子心の教育表彰等の機会を利用した善行の奨励

【健康（体力・保健・食・安全）】

○健康でたくましい児童の育成を目指した健康教育と安全教育の充実 「たくましさ」プロジェクト

- ・運動に親しもうとする態度や能力の育成・健康教育と安全教育の充実
- ・体力の実態に応じた補強運動を実施し体力の向上を図る
- ・新体力テストを児童が活用し主体的に取り組む態度の育成 ・交通ルールや災害、不審者への対応の学習
- ・養護教諭、栄養教諭と担任との連携 ・危機を予測し命を守る行動力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1-(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「私は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 90%以上 ⇒教職員 90%以上	①「基礎・基本の定着」を図るため, 学習に関する基本的な行動様式(豊郷南小「授業への取り組み方」)について共通認識をもち, 学年の発達の段階や実態に応じた指導を行うとともに, 授業において児童が積極的に発言し, 一人一人の意見を大切にし合える雰囲気づくりに努める。 ②「主体的・対話的な学習」を実践するため読解力・表現力の育成に向け, めあての明確化・振り返りの時間の確保・学習課題に沿ったまとめ・AIドリルの積極的な活用を意識した授業を行う。 ○③「家庭学習の習慣化」を図るため, 家庭学習強化週間を設定する。また, 懇談会の場を用いたり学年だよりを通してたりして保護者と連携・協力する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度(昨年度) 児童 91.7%(※) 教職員 100.0%(※) いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①, ②, ③を継続して実施していく。令和5年度は特に, めあての明確化や振り返りの工夫等, 授業で実践することができた。また, AIドリルの積極的な活用を図った。
1-(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は, 思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「私は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①心に響く道徳教育の実践として, 体験活動と関連を図った道徳科の授業等を実施し, 生命や人権を尊重する心, 人を思いやる心などを涵養する。 ②児童会活動や清掃における縦割り班活動を通して, 相手の立場を考えて思いやる心を育む。 ③引き続き「宮っ子心の教育表彰」を活用し, 児童のよさや努力等を積極的に認め励ます教育に努める。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度(昨年度) 児童 90.1%(※) 教職員 90.3%(91.7%) いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①, ②, ③を継続して実施していく。
	A3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「私は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①体育科をはじめとする授業の各種検定等において, 児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに, 目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ②道徳科の授業やキャリア教育と関連付け, 目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせ, 実践意欲を高める。 ③児童が認め合う場を数多く設けるとともに, 教職員が認め励ます指導に努める。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度(昨年度) 児童 88.1%(90.1%) 教職員 93.5%(91.7%) いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①, ②, ③を継続して実施していく。次年度は, 各クラスで取り組んでいる認め合う活動を紹介するなど, 教職員が認め励ます指導を充実していく。

1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 「私は、健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①健康に気を付けて自ら健康管理できるように、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行うとともに、養護教諭と担任による体育（保健）の授業や保健だより・食育だよりによる健康についての啓発活動を継続して行う。 ②栄養教諭と担任が連携し、学校給食と各教科や特別活動の関連を図った、栄養バランスのとれた食事や望ましい食習慣に関する指導を継続して行う。 ③危機を予測し命を守る行動力を育成するため、日常指導における安全教育を充実させるとともに、学校行事として交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 91.5%（※） 保護者 90.2%（91.1%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 「私は、自分のよさや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①「分かる授業、楽しい学校行事、良好な人間関係醸成」の実施に努める。 ②児童会活動において、児童の主體的な活動を重視するとともに、「なかよしタイム」等の縦割り班活動を実施し交流を深める。 ③児童が自己有用感を高められるよう、授業の中で発表したり係活動等を通して誰かに貢献したりする場面を設定し、小さな努力の積み重ねや活躍の状況等を、積極的に認め励ます指導を継続する。また、児童が互いのよさを認め合う場面を設定し、一人一人に達成感を感じさせるとともに、活動への意欲と自信を育てる。	B	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 86.3%（※） 教職員 93.5%（※） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。 行事の精選を行い、楽しい学校行事を行う中で、自分のよさや成長を実感出来るような機会を設ける。 （キャリアパスポートの活用）
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 「私は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①ALTとの日常的な交流を通じて、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ②ALTと連携し、外国語科・外国語活動において英語のやりとりを中心とする授業を行うとともに、校内研修を充実させ、指導力の向上を図る。	A	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 81.3%（※） 教職員 100.0%（100.0%） 児童の肯定解答数値が指標を下回っている。 【次年度の方針】 授業の始まりの挨拶の型を決めて全学年で共有し取り組んでいきたい。ALTと子供たちのやりとりの機会を増やし英語への関心を高める。また、低学年のうちから児童同士のコミュニケーションを図ることで、外国語活動の充実を図る。

	A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 「私は、宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①生活科、社会科、総合的な学習の時間等と関連させながら調べ学習（校外学習）を実施し、豊郷地域や宇都宮市のよさに気付く指導に努める。 ②家庭での学習を通して、市の地理や歴史、文化、産業等について理解を深める。 ③図書室に備えてある市に関する図書コーナーを積極的に活用したり、給食時に地域の食材を放送で紹介したりするなどして、興味関心を高めていく。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 84.9%（84.1%） 教職員 87.1%（87.5%） 児童の肯定的回答数値が指標をやや下回っている。 【次年度の方針】 B 宇都宮学ではタブレットを用いた調べ学習やレポートづくりなどをより充実させる。宇都宮学及び家庭での学習を通して、市の地理や歴史、文化、産業等について理解を深める。また図書室に備えてある市に関する図書コーナーを積極的に活用したり、給食時に地域の食材を放送で紹介したりするなどして、興味関心を高めていく。
2-（2） 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 「私は、パソコンや図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①GIGAスクール構想と関連付け、教員が授業等で積極的にICT機器を活用するとともに、一人一台端末を用いた、調べ学習や繰り返しドリルに取り組ませる。また、児童の発達の段階に合わせて情報モラルに関する授業、ICT操作スキルを育成する授業を行い、児童のICT機器活用能力を高める。 ② 一人一台端末を用いた、家庭学習につながる宿題等を充実させられるよう研究していく。 ③ 学校図書館の利用を推進し、調べ学習等を通じた情報活用能力の育成を図る。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 85.1%（※） 教職員 100.0%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 B 令和5年度はGIGAスクール構想と関連付け、教師が授業等で積極的にICT機器を活用することができた。また、一人一台端末を用いた調べ学習や繰り返しドリルに取り組ませることができた。児童の発達の段階に合わせて情報モラルに関する活用の仕方を日常的に指導し情報活用能力の育成を図る。
2-（3） 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 『私は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。』における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	①総合的な学習の時間や理科、社会科等における環境やエネルギー、防災等に関する学習を通して、教科等横断的な視点で環境問題や防災への関心を高める。 ②各学級を中心に、児童が日常生活で行っているごみの分別や節電、節水が「SDGs」や「持続可能な社会」に関係していることを場に応じ繰り返し伝えていく。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 89.0%（※） 教職員 77.4%（83.3%） 教職員の肯定的回答数値が指標を下回っている。 【次年度の方針】 B ①、②を継続して実施していく。
3-（1） インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要とする児童（生徒）の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①特別な支援を必要とする児童について共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ②校内支援委員会やケース会議等で具体的な指導目標や指導の手立てを設定し、かがやきルームや特別支援学級における支援・指導の充実を図る。 ③必要に応じて外部機関との連携を深め、個々の実態に応じた支援の充実に努める。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 96.8%（※） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 B ①、②、③を継続して実施していく。

3-(2) いじめ・不登校対策の 充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①学級活動や道徳科の授業等を通して、人を思いやることや人権を尊重することの大切さを指導するとともに、いじめが許されない行為であることを繰り返し指導する。 ②児童会が主体となり、「人権標語コンクール」や「いじめゼロ運動」等に児童主体で取り組めるよう支援し、望ましい児童集団の育成に努める。 ③いじめの早期発見や早期解消においては、教職員全員が、学校全体で取り組むという認識の下、定期的にアンケートや教育相談等による情報収集を行うとともに、「豊南小いじめ防止基本方針」に基づく組織的な対応により、保護者の理解協力も得ながらいじめの早期発見、早期解消を図る。さらに、このような学校の取組を積極的に情報発信する。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 96.4%（97.6%） 保護者 80.4%（82.3%） 保護者の肯定的回答数値が指標を下回っている。 【次年度の方針】 児童が夢や目標に向かって頑張っている様子が保護者に伝わるよう、学年だより「ハートフル豊南」欄を通して情報を発信する。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 「先生方は、一人一人を大切にし、児童（生徒）がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	①授業や朝の会・帰りの会等の様々な活動を通して、教職員が児童のよさや努力を認め励ます指導を行うとともに、児童同士が認め合う学級経営に努める。 ②教育相談、アンケート、Q-U調査等を活用し不適応傾向や不登校傾向の児童の早期発見と不登校傾向の児童に係る情報共有を図り、組織的に対応する。 ③教育相談やアンケート等の時期を調整し、児童の心のケアを行えるように努める。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 95.9%（97.1%） 教職員 100.0%（100.0%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。
3-(3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実 3-(4) 多様な教育 的ニーズへの 対応の強化	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①日常的に児童が相談しやすい雰囲気や関係づくりに努めるとともに、担任だけでなく、学校の誰にでも相談できる体制づくりを進める。また、ゆとりをもって相談できる環境づくり（時間の確保）にも努める。 ②児童が、互いの国籍や文化の違い等を認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。また、道徳科や外国語活動、外国語科等を主とし、あらゆる教育活動を通して外国の文化の尊重や多様性を大切にする心情を育てる。 ③外国人児童の実態や家庭環境に応じた日本語指導教師の活用を行う。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 94.8%（※） 教職員 100.0%（※） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。特に①の児童が相談しやすい雰囲気や関係づくりにさらに努めていく。

4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上	①引き続き、豊郷南小学校「教え方のポイント」を踏まえた分かる授業の展開や、児童の思考の流れに沿った構造的な板書を行うとともに、児童の状況を踏まえ、よさを積極的に見付け褒める指導に努める。 ②児童の状況に配慮した習熟度別学習やＴ・Ｔなどを計画的に取り入れ、指導を行う。 ③「主体的・対話的な学習を通して読解力・表現力を高める国語科指導」として、「深い学び」の実現に向けて校内研究授業等を実施し、教員の指導力向上を図る。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 95.7%（96.9%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。令和5年度の成果を生かし、次年度も一人一人を大切に引き続き取り組んでいく。
4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①学校の諸課題への対応や学校行事の準備・運営等に、教職員が協力して取り組むよう努める。 ②教職員の得意分野や持ち味が生きる組織運営に努めるとともに、困難を感じる業務について気軽に相談したり、助け合ったりする雰囲気や大切に、校務分掌や出授業の中で互いの得意分野を生かし、学年会等で情報交換を行い、「風通しのよい・働き甲斐のある職場」づくりに努める。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 93.5%（100.0） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 引き続き、学校の諸課題への対応や学校行事の準備・運営等に、教職員が協力して取り組むよう努める。また、今後も教職員の得意分野や持ち味が生きる組織運営に努めるとともに、ベテラン・若手双方の意見を反映できるみなみんプロジェクトを活用して「風通しのよい・働き甲斐のある職場」づくりに努める。
4- (3) 学校におけ る働き方改 革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②行事内容の実施方法の改善・工夫・縮小を検討し、特に負担の大きい行事については、校務分掌の複数の担当者が分担し合うなどの工夫をする。 ③会議や打ち合わせの終了時刻や会議内容の精選、ペーパーレス化をさらに推進するなど、業務の効率化を図る。 ④日課を工夫することで、教職員の放課後の時間を確保し、教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 87.1%（※） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ④は、日課変更をしたことにより、教職員の放課後の時間を確保できたので、さらに教職員一人一人が、勤務時間やリフレッシュデーを意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②は、コロナリカバリープランにより、行事内容がコロナ前に戻ってきているが、内容を精選し、特に負担の大きい行事については、校務分掌の複数の担当者が分担し合うなどの工夫をする。 ③は、毎週の打ち合わせにグーグルドキュメントを活用したり、職員会議では、さらにペーパーレス化を推進したりするなど、業務の効率化を図る。

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 「学校は、地域学校園の小学生や中学生、先生と、授業や行事、掲示物などで交流する活動を行っている。」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	①中学校と連携して、あいさつ運動や進学先中学校訪問を実施するとともに、地域学校園の教科・専門部会の目的を明確にして効果的に実施する。 ②学校HP・学校だよりや学年だより等で小中一貫教育・地域学校園の活動について情報を発信する。 ③中学校からの乗り入れ授業（6年生）について、学校園内で検討し充実させる。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 保護者 77.1%（80.8%） 地域住民 87.5%（※） 保護者の肯定的回答数値が指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①は、中学校と連携して、あいさつ運動等計画的に実施するとともに、地域学校園の教科・専門部会の目的・内容を明確にして全職員共通理解のもと実施する。 ②は、引き続き学校HP・学校だよりや学年だより等で情報を発信する。小中一貫について内容を絞った便りも発信する。 ③の中学校からの乗り入れ授業については、複数回実施できるよう希望し、学校園内で検討する。 B
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	①豊郷南小学校地域協議会を開催し、学校と家庭・地域が連携協力して行う取組や学校の教育活動への支援・協力について協議する。 ②「見守り隊」や学校支援ボランティアを有効に活用し、登下校や校外学習時の安全確保、読み聞かせや授業への支援などへの協力を得る。 ③学校だよりや学年だより、学校HP等で、家庭・地域等と連携・協力した取組について積極的に情報を発信する。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 保護者 86.0%（89.7%） 地域住民 90.9%（※） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①については、継続して取り組んでいく。 ②は、保護者・地域・学校が連携協力している様子を周知するために、オープンスクールに合わせて、ボランティアさんへの感謝の会を開く。 ③は、保護者に家庭・地域等と連携した様子を見てもらうために、学校だよりや学年だよりに学校HPのアドレスを載せる。 A
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 80%以上	①教室、特別教室、廊下、体育館、校庭など、教職員全員による安全点検を毎月1回実施するほか、学校行事の前後や災害時など臨時の安全点検を行い、危険箇所について迅速な改善・修繕に努める。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、令和4年度の内容見直しを踏まえた避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の事態に対応できるように指導を継続する。 ③熱中症予防のため、運動会の練習や体育の授業において、引き続き、こまめな水分補給や日陰での休憩を行う。また、身体安全に向けた日常の健康管理や把握を行う。更に、感染症等の状況を注視しながら、予防のために手洗い・うがい、手指の消毒、マスクの着用、換気を継続指導する。	【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 96.8%（100.0%） 保護者 90.3%（90.2%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。 B

6-(2) 学校のデジ タル化推進	A20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができています。 【数値指標】 「私は、授業（授業準備を含 む）や業務に、デジタル※を 積極的に活用している。」にお ける肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①児童がタブレットや情報通信ネッ トワークなどの情報手段に親しみ、 適切に活用する力を育成できるよ う、積極的にＩＣＴ機器を活用す る。 ②一人一台端末の効果的な活用法に ついて教職員が校内研修で検討し、 より良い指導法について共有する。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 教職員 96.8%（100.0%） 数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続して実施していく。
小・中 学 校、地 域 学 校 共 通、本 校 の 特 色・ 課 題 等	B1 児童は、時と場に応じ たあいさつをしている。 【数値指標】 「私は、時と場に応じたあい さつをしている。」における肯 定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	○①児童会を中心としたあいさつ運 動を定期的実践するとともに、児 童会と陽北中学校生徒会による「あ いさつ運動」を今年度も実施する。 また、あいさつを校外（地域の方） にも向け、児童主体の活動を推進す る。 ②心のこもったあいさつや、その場に ふさわしい言葉遣いができるよう、 学年の発達の段階に応じて指導を 行うとともに、家庭での指導を保護 者に働きかける。 ○③あいさつ運動の様子を学校だ よりや本校ホームページ、学年だ より、懇談会等で発信し、保護者をは じめとする地域の方々に伝える。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 88.1%（※） 教職員 80.6%（87.5%） 保護者 84.1%（89.2%） 児童は数値指標を上回ったが、教職員・ 保護者の肯定的回答数値が指標を下回 っている。 【次年度の方針】 ①、②、③を継続し、学年の発達段階に 応じて根気強く指導を続けていく。
	B2 児童は、きまりやマナ ーを守って、生活をして いる。 【数値指標】 「私は、きまりやマナー を守って、生活をしてい る。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①引き続き「豊南小での生活」に基づ く全校共通理解の下、発達の段階に 応じて指導にあたり、基本的生活習 慣の定着を図る。 ○②きまりやマナーを守って行動し ていることを児童が認め合う場や 教職員が称賛する機会を数多く設 け、児童に意識付けしながら実践 意欲を高める。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 92.7%（※） 教職員 87.1%（91.7%） 保護者 93.2%（90.4%） いずれも数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①、②を継続して実施していく。 特に今年度作成した「豊南小10のきま り」について、児童が自身の生活を振り 返られるように指導の工夫をしていく。
	B3 児童は、進んで運動を している。 【数値指標】 「私は、進んで運動をしてい る。」における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	①学習カードの工夫やスモールステ ップでの目標設定などを工夫し、教 科体育の充実を図る。また、楽しさ と運動量のある体育の授業実践に 努める。 ②ドッジボール大会や長縄集会等を 行い、楽しく体力向上への意欲や技 能を高める。 ③雨天時以外では、外遊びを奨励する とともに、縄跳びの練習台など設置 し、児童が運動に親しめる環境を整 えていく。	A 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 82.6%（※） 保護者 76.9%（※） いずれも数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①、③を継続しさらに次の取組みを取り 入れる。 ・体育の時間にサーキット運動を取り 入れ、基礎的な体力向上を図る。 ・夏休みや冬休み中に、家庭で運動に取 り組めるような学習カードを用意し、 家庭での運動量増加を図る。

	B 4 児童は、進んで読書をしている。 【数値指標】 「私は、進んで読書をしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	○①各学年の授業内容に関連した図書を充実させ、地域学校園内の各校、市立図書館とも連携しながら学校図書館の環境整備に努める。 ②朝の読書タイムや読み聞かせ、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。また、「家読」の取組について実践例を保護者に紹介するなどし、児童が読書に親しみ活用できる姿勢を育てる。	B 【達成状況】 肯定的回答率 今年度（昨年度） 児童 77.6%（※） 保護者 61.6%（※） いずれも数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 朝の読書タイムを充実させたり、図書室利用を積極的に活用したりする。「家読」を継続しながら、家庭での読書の習慣を図れるようにする。
--	--	---	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・保護者・児童ともに肯定的回答率が90%を超えている項目は次のとおりであり、継続していく。
- 1 A2「児童は思いやりの心をもっている」 保護者95.7% 児童90.1%
学校では、児童会における縦割り班活動、登校班や清掃時における上級生のサポート、道徳学習を通した思いやる心の育成に取り組んでいる。引き続き実践する。
- 2 A4「児童は健康や安全に気を付けて生活している」 保護者90.2% 児童91.5%
食育・登下校の安全指導・地震、火災の発生や不審者の侵入を想定した避難訓練などに取り組んだ。また、交通安全教室による交通安全に対する意識の高まりがある。今後も危機を予測する力の向上に取り組む。
- 3 A12「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている」保護者91.4% 児童95.9%
朝の会や帰りの会などで、その日の児童の行いのよさや努力を紹介したり、児童同士でよさを伝え合ったりする活動を行った。また、教職員全体で児童指導を行う体制ができてきているため、今後も継続して取り組む。
- ・保護者・児童の肯定的回答率が80%に達しなかったものがある項目は次のとおりである。
- 1 A7「児童は宇都宮の良さを知っている」 保護者72.8% 児童84.9%
宇都宮学等ではタブレットを用いた調べ学習やレポートづくりをより充実させたり、図書室に備えてある市に関する図書コーナーを積極的に活用させたりして市の歴史や文化、産業等について理解を深める。また、生活科や総合的な学習の時間では、保護者や地域住民に地域の様子を聞き取る活動などを通して、児童の学習の様子を伝えていく。
- 2 A17「学校は、小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」保護者77.1% 児童82.1%
今後も中学校と連携して、あいさつ運動や小中交流授業等を計画的に実施するとともに、様子が保護者に伝わるよう、学校だよりやホームページ、学年だより欄を通して情報を発信する。
- 3 B3「児童は進んで運動をしている」 保護者76.9% 児童82.6%
体育の時間にサーキット運動を取り入れ、基礎的な体力向上を図る。また、楽しさと運動量のある体育の授業実践に努める。家庭で運動に取り組めるように夏休みや冬休み中に、学習カードを用意し運動量増加を図る。
- 4 B4「児童は進んで読書をしている」 保護者61.6% 児童77.6%
朝の読書タイムを充実させたり、図書室利用を積極的に活用したりする。また、「家読」の推奨を継続し、家庭での読書の習慣を図れるようにする。

7 学校関係者評価

- ・コロナ禍で控えていた学校行事の実施が増え、子供たちも楽しい学校生活を送れたようだ。
- ・PTA 行事の盆踊りや「みなみんまつり」が実施できてよかった。地域協議会主催の行事も来年は復活させたい。
- ・感染症の状況が変容する中、先生方や保護者の皆様は、子供たちのために努力している。地域協議会としてできることは今後も協力していきたい。
- ・可能であれば、町探検等で幼稚園に小学生が来園して交流ができるとよい。また、入学後の様子を知る機会を設けてほしい。
- ・挨拶に関しては個人差がある。大人が諦めずに挨拶を続けることが大切だと思う。
- ・校外で知らない人へ挨拶をするのはハードルが高いと思うので、まずは、校内で挨拶ができるよう指導をするとよい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校経営】

- ・全体的に児童は落ち着いて学校生活を送っている。学校運営が概ね良好に行われている。
- ・魅力ある学校づくり地域協議会や地域学校園、地域企業等との連携については、引き続き充実させ、学校運営に反映し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきたい。

・令和5年度は、コロナ禍で見合わせていた体験的活動の機会を増やした。活動の様子が保護者や地域に伝わるよう、今後も各種たよりや学校ホームページによる情報発信を積極的に行っていく。

・「教職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の項目では、肯定的回答率が93.5%であった。引き続き「風通しのよい・働き甲斐のある職場」づくりに努める。

【学習指導】

・児童の学習に関して、引き続き、「分かる授業づくり」と「家庭学習の方法の指導」を推進する。

・各学力調査について教職員全員で結果の分析を行った。そこから抽出された成果と課題を基に次年度の学校課題を設定し指導方法の工夫を行う。特に、「主体的・対話的な学習を通して、読解力・表現力を高める指導」については次年度も継続して取り組んでいく。

・「宇都宮の良さを知っている」に関しては、タブレットを用いた調べ学習やレポートづくりをより充実させたり、図書室に備えてある市に関する図書コーナーを積極的に活用させたりして市の歴史や文化、産業等について理解を深め、ふるさとに誇りをもてるよう指導していきたい。また、給食時に地域の食材を放送で紹介し、興味関心を高めていく。

【児童指導】

・思いやる心に関しては、今後も、児童会における縦割り班活動、登校班や清掃時における上級生のサポート、道徳学習を通して育成する。

・児童の規範意識に関しては、保護者の肯定的回答の割合がやや増加した。令和5年度作成した「豊南小10のきまり」を重点指導項目として継続し、児童が自身の生活を振り返られるように指導の工夫をしていく。引き続き、家庭や地域の協力を得ながら、セルフコントロールする意識を育てていく。

○・今後も子供たちのよさを認め励ます教育を推進し、児童の自己肯定感を高められるよう支援する。児童が相談しやすい雰囲気づくりに努めたり、保護者と密に連絡を取り合ったりすることで、児童の思いや保護者の願いなどを聞き取り、学校の誰にでも相談できる体制づくりに取り組む。

【健康（保健・安全・食育）・体力】

・児童の健康や安全への意識向上に向けて、特に交通安全について、通行量の多い道、狭い道のある学区であることを踏まえ、今後も重点的に指導する。

○・教科体育では、準備運動等でサーキット運動を取り入れ、基礎的な体力向上を図る。また、楽しさと運動量のある体育の授業実践に努める。さらに家庭で運動に取り組めるように、夏休みや冬休み中に、学習カードを用意し運動量増加を図る。

・健康指導・食育の指導については養護教諭・栄養教諭と連携し、TTとしての授業参加や「すこやか教室」の実施等を通して、児童の健康面を支援する。